



TITLE:

2014-2015年に阿蘇山で観測された 空振シグナル

AUTHOR(S):

横尾, 亮彦

CITATION:

横尾, 亮彦. 2014-2015年に阿蘇山で観測された空振シグナル. 2017: 共同研究（一般研究集会）28K-07.

ISSUE DATE:

2017-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/227484>

RIGHT:

2014-2015年に阿蘇山で 観測された空振シグナル

京大火山研究センター
横尾亮彦

まとめ

- 阿蘇山の2014-2015年噴火活動期間中に0.4-0.7 Hzに卓越したモノトニックな空気振動が観測された
- 空振波源は第一火口中央部であり時間変化しない
- 火道最上部空間の定在波であると仮定し、ピーク周波数・火孔径の時間変化から、励起源空間スケールの時間発展を検討した
- 噴火開始から一ヶ月間の噴煙中ガス含有率は一般的な値よりも高く、希薄な噴煙であったことが考えられる
- 2015年5月の陥没現象はマグマドレインバックがきっかけで発生し、火道は陥没土砂の流入によって閉塞したことが示唆される